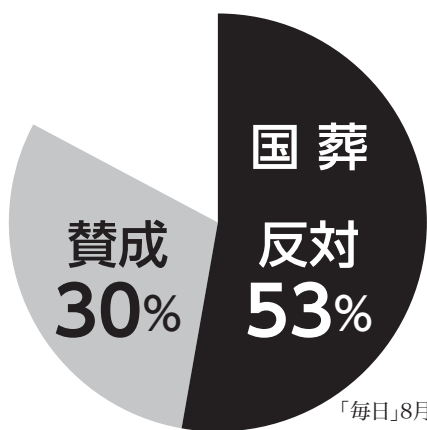


憲法違反の「国葬」

キツパリ

中止に!



「毎日」8月20、21日調査

岸田政権による安倍元首相の「国葬」強行に反対する世論が日をおうごとに高まっています。国民にたいして、なにひとつまともな説明ができないのは、「国葬」が明白に憲法に違反しているからです。

日本共産党

「法の下での平等」「思想・良心の自由」

——憲法をふみにじることは許されない

なぜ、「国葬」なのか。「在任期間最長」というだけで、首相はまともな説明ができません。時の内閣の打算で特定の個人を特別扱いすることは、憲法14条「法の下での平等」に反します。

首相が言う「敬意と弔意を国全体であらわす」とは結局、「国民全体」に弔意を強要することです。実際、府省庁では、「国葬」当日の弔旗掲揚、葬儀中の黙とうが強要されようとしています。憲法19条「思想及び良心の自由」をふみにじるものであり、絶対許せません。

儀式だけで 税金2億5000万円

総額も示さず、国会議決もなく血税投入

法的根拠のない「国葬」を「閣議決定」で強行することは、「法の支配」を「人の支配」に代える暴挙です。その「儀式」に2.5億円もの税金を支出。警備費などを入れればもっと膨らみます。ところが、総額いくらか

かるか国民に隠したまま強行しようとしています。物価高騰とコロナで国民生活が痛めつけられているなかで、国会での説明も議決もなしに、国民の血税を使うことなどまともな政府のやることではありません。

安保法制の強行、「森友・加計・桜」、統一協会との癒着…。「安倍政治」への「敬意」の表明を、ばく大な税金使って強要することなど許されません。日本共産党は、「国葬」強行に反対です。



2022年9月号外

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

日刊●月3,497円 日曜版●月930円